



Topic 1 校内課題研究報告会！

152グループによる全校発表！
 高校2年生約450人全員が主役となる課題研究報告会が校内で開催されました。発表グループは過去最高となる152グループにも上り、それぞれが工夫を凝らした発表を行いました。この発表会は、教員による厳正な評価が行われる一方で、高校1年生と2年生の聴講生徒たちは、自由に興味のある発表を聞きに行くことができるとい点が特徴です。聴講生徒にとっては、様々なテーマに触れ、知識を深める絶好の機会となりました。1年生は先輩の発表をしっかりとみることでも来年1年間



の課題研究活動のゴールイメージを抱くことができました。

ハレノワでの発表生徒を決定！

152グループの中から輝きを放った7つのグループがハレノワ発表の権利を勝ち取りました。これらの代表グループは、発表内容の論理的展開、実験やフィールドワークを通じたデータ収集の有無、そして仮説の検証能力、社会に与えた影響などの評価基準をクリアし、その卓越性を証明しました。選出されたとのグループも、課題研究活動を通じて得た知見を用い、



聴衆を引き込むプレゼンテーションを展開し、実験結果やアンケート調査などから得られたデータを基に仮説がどのように検証されたのかを明確に示していました。代表に選ばれたグループはハレノワでの校外課題研究報告会までの2週間、ゼミ教員と協働して内容のブラッシュアップをさらに進めて発表に備えました。



令和5年度 校外課題研究 報告会を岡山芸術創造劇 場ハレノワにて開催！

岡山学芸館高等学校の課題研究発表が新たなステージへと進展し、選ばれた代表7グループと英語科の生徒による全8グループが岡山芸術創造劇場ハレノワでの発表会に臨みました。発表生徒らは校内での課題研究報告会での発表をさらにレベルアップさせ、緻密で洗練されたプレゼンテーションを披露しました。聴衆は中学生1年生から高校2年生、保護者そして教育関係者と多岐にわたり、Slidoを用いた質疑応答では、これらの参加者が質問を積極的に行っていました。Slidoの使用は今回が初となる試みでしたが、参加者による高いモラルに支えられ、発表者と聴衆の間の深い理解とコミュニケーションを促進することに貢献しました。表彰式では、各ゼミの中から特に優秀な取り組みを行った研究グループの生徒が表彰され壇上で称賛されました。そして会の最後には探究学習のフィードバックサービスを展開する株式会社

令和5年度 岡山学芸館高等学校

課題研究報告会



クアリアの芦野恒輔氏より、各発表グループに対して詳細な講評が提供され、参加者にとって非常に有意義なフィードバックとなりました。このイベントは次年度以降も継続され、生徒たちが研究に対する深い洞察と創造性を発揮し、学問的探究の旅において次の一歩を踏み出す機会を提供します。高校1年生のみなさん、次の発表者は君たちです！



【医療看護ゼミ】

MBTI 診断による自己分析が高校生活の質を向上させる可能性について
重白もえさん・小村南月さん・藤澤心彩さん・柴田結彩さん

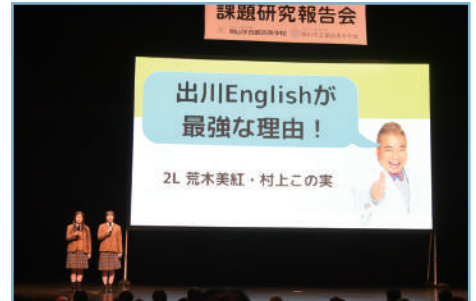
今流行りの MBTI 診断を用いて研究を行っています。本校の生徒約 700 名に日常生活と MBTI を掛け合わせたアンケートを行いました。MBTI 診断のもとになった「心理学的類型」を書いたカール・グスタフ・ユングは、個人の「心・魂」は意識と無意識に分けられ、そのバランスが崩れると精神疾患につながるとも述べています。MBTI 診断により、これまで無意識で感じる事ができなかった新しい自分を知ること、自分を客観視し、認識することで高校生活がより充実したものになるのではないのでしょうか。



【社会福祉システムデザインゼミ】

持続可能な福祉社会の実現に向けてー「循環型社会福祉システム」の構築に向けたプロジェクトー
新田彩乃さん・八藤達也さん・大田原京花さん・白神幸奈さん・三村泉美さん・山形萌々香さん・大熊優里子さん

社会では高齢者の孤独死、児童虐待、子どもの貧困など深刻な問題が増加しています。これらは個人だけでなく社会にも大きな影響を与え、迅速な対策が求められています。この状況に対応するため、私たちは高齢者の見守り、子どもへの学習支援など様々な地域活動を1年間実施してきました。これらの経験を基に、今後は地域社会のさらなる改善と、社会問題に効果的に対応するための戦略を深く探究していきます。



【英語科代表】3グループ発表

①出川 English が最強な理由 ② ストリートピアノの可能性～コミュニケーションの誘発～③アボリジニに対して留学生が偏見を持たないために私にできること

①荒木美紅さん・村上この実さん ②松本世為さん ③荒木彩良さん

英語科2年生はカナダ・オーストラリアで1カ年留学をしながら、自らテーマを設定し課題研究をおこなってきました。外国にいるため文献調査など日本で普通にできることが難しいという苦労もある半面、インターネット上での先行研究(論文)調査、現地の多国籍な環境を生かしてインタビューやアンケートなどそれぞれの環境でできることを工夫しながら研究を行いました。

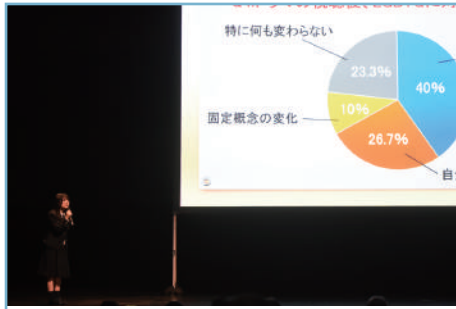


【物質科学ゼミ】

台所のゴミからプラスチックを作ってみた!

長尾紗良さん・平松咲希さん

石油があと 50 年で枯渇するといわれており、また、捨てられたプラスチックが環境に与える悪影響が懸念されている今、この二つの問題の解決に繋がるプラスチック作りを目指しました。私たちは、台所で生じるジャガイモやカボチャなどの皮などの非可食資源を材料とし、そこからデンプンを抽出して用いて食べられるプラスチックを作成しました。作成にあたっては酢を用いる必要があり、この臭いの改善のために試行錯誤しました。成形にも欠点があり、実用化にはまだまだ改善の必要はありますが、今回はその研究の過程や成果を発表させていただきました。



【多文化共生社会・多様性社会ゼミ】

テレビドラマが高校生にもたらす影響

工藤璃子さん

テレビドラマの経済波及効果の大きさは、例えば「silent」が食や観光など、各種方面に影響があったことから、周知の事実です。ではドラマはその視聴者、特に思春期にある高校生の心理面や思考にどのような影響を及ぼすのでしょうか。例えば、テレビドラマがある社会課題を取り上げた場合、高校生のその課題への理解は深まり、自分事として考え、行動変容を促すことができるのでしょうか。またドラマのテーマ以外に、俳優や物語性などどのような要素が重要なのでしょうか。これらを明らかにするために、高校生を対象に調査と考察を行いました。



【養護保健教育ゼミ】

学校行事リストでフードロス削減!?

川崎愛美さん・植月杏さん・有年紗輝さん

フードロスを減らすには。登下校時によく利用するコンビニに着目しました。コンビニから出るフードロスは年間約 2 万トン。その背景にはコンビニ独自の会計方法により廃棄が増えてしまう仕組みがあると知りました。そこで、過剰な仕入れをしなければ仕組み自体を変えなくても廃棄する量を減らせると仮説を立てました。西大寺には学芸館を始めたくさんの学校があります。学校行事のリストを学校周辺のコンビニに配布し、仕入れの際に参考にして頂きました。結果として、過剰な仕入れが減り仮説が立証されました。高校生の私達にも解決の糸口を見つけることができ嬉しかったです。



【言語コミュニケーションゼミ】

文学は人を癒せる!?～ビブリオセラピーにおいて文学作品が果たす役割とは?～

濱田茉希さん

世界中で精神疾患が増加傾向にある今、日本でも4人に1人が生涯に一度は何らかの精神疾患に罹患すると言われています。その現状を救うために「ビブリオセラピー」について研究しました。お医者さん相手であっても中々相談し難い精神疾患のケアを「ビブリオセラピー」を通して患者自身ができるようにする方法について考えました。患者自身が自分に合った適切な本を自分で選ぶ「自己管理でのビブリオセラピー」について日本読書療法学会会長の寺田真理子氏から助言をいただきつつ、研究を進めました。



【海洋教育ゼミ】

アマモ醤油～ジャマモと呼ばれた海藻の可能性～

平岩恋季さん

アマモという海藻を知っていますか?ブルーカーボン生態系として注目を集めているアマモ。医進サイエンスコースは、地元の漁師さんと一緒にアマモ場再生活動を行っています。活動の輪は全国に広がっているものの、アマモはまだ広く知れ渡っているとは言えません。私は、もっと多くの方にアマモについて知ってもらう方法を考え、アマモから食品を作ることに挑戦しました。アマモの食文化はほぼありませんが、アマモの種子が澱粉を含んでいるという特徴を生かして、醤油を作る研究に没頭しました。興味を持ってくださった方は、一緒に海洋問題に取り組みましょう!



【講評】

株式会社クアリア 代表取締役
元 株式会社ベネッセコーポレーション
ベネッセ教育総合研究所 教育イノベーションセンター 主席研究員

芦野 恒輔 様

今日の会の前に、予選のような立ち位置となる全体発表があったと聞いています。今日発表した、していないに関係なく、一人一人に研究を通じた成長とか、変化があったはず。この課題研究という学びの意味を決めるのは、自分しかいません。それはつまり、学校が授業を設けているから意味が決まるわけではないし、大学が評価してくれるから意味が決まるわけでもありません。「私にとっての課題研究はこんな意味があった!」と自信を持って言ってほしいと思います。

Topic 2

御影高校と課題研究交流会を実施！

3月18日(月)に兵庫県立御影高等学校と課題研究交流会を実施しました。この交流会には、両校の生徒約120名が参加し、参加した生徒たちは各自の研究成果をポスターやパワーポイントの形でまとめて発表を披露。このイベントの特筆すべき点として、企画から運営までを両校の

代表生徒たちが主導しており、教員の介入は最小限に留められたことです。この自主運営により、生徒たちは実践的な経験を積むと共に、異なる学校の生徒同士で知識を共有し、互いに学び合う貴重な機会を得ました。御影高等学校とは次年度も引き続き交流を続けていきますので、



興味があればぜひ手を挙げて参加してみてください。

外部コンテスト受賞のみなさん



マリンチャレンジプログラム全国大会 2位
海の宝アカデミックコンテスト頂上コンテスト(サイエンス部門)最優秀賞
第6回ChangeMakerAwards全国大会 金賞
2M 平岩恋季さん



地域の伝承文化に学ぶコンテスト優秀賞
地域マネジメントコンテスト2023優秀賞
2V2 阪口菜々香さん・2V2 立花夏音さん・
2V2 谷口瑠菜さん・2V2 戸田風咲さん



甲南大学リサーチフェスタ
審査員特別賞
2B 田辺海太さん・2V3 道満智哉さん



甲南大学リサーチフェスタ
ビッグデータ賞・ロジカルデザイン賞
2S1 松井侑希さん・2S1 岡崎遼さん・
2S1 坪井泰成さん・2V3 神野航太さん・
2S1 窪田悠希さん・2S1 廣田誠司さん



甲南大学リサーチフェスタ
クリエイティブテーマ賞
2V2 木元青空さん・2S1 片山晴菜さん・
2S2 片岡葉音さん・2D 田辺萌音さん



甲南大学リサーチフェスタ
アトラクティブプレゼンテーション賞
2B 田原悠帆さん・2B 川上航生さん・
2B 都竹晋弘さん・2C 中島克輝さん



甲南大学リサーチフェスタ
アトラクティブプレゼンテーション賞
2S2 工藤璃子さん



甲南大学リサーチフェスタ
ロジカルデザイン賞
2V1 山村咲花さん・2E 馬場こなみさん・
2A 徳澤拓磨さん・2A 田尾心さん



甲南大学リサーチフェスタ
ロジカルデザイン賞
2S2 宮崎世愛さん



甲南大学リサーチフェスタ
ビッグデータ賞
2S1 平松咲希さん・2V1 長尾紗良さん

課題研究広報誌 令和5年度 Vol.2 2024年3月25日発行
岡山学芸館高等学校課題研究運営部
〒704-8502
岡山市東区西大寺上1丁目19-19 ☎086-942-3864

ご覧ください!

岡山学芸館高等学校 課題研究Facebook
<https://www.facebook.com/gakugeikansgh/>

